



第1回基本計画検討委員会での課題について

(要旨編)

<資料目次>

1. 第1回基本計画検討委員会の質疑について (要旨) 1

1.第1回基本計画検討委員会の質疑について①

NO	質疑内容	回答	備考
1	第1回資料3-P2 ・検討空間について 公園利用者駐車場位置など	歩行者動線、来場者駐車場位置、橋梁下立入範囲、アクセスポイントを明記	第2回資料2 P1参照
2	第1回資料3-P8 ・景観計画について ①色彩ガイドラインの記載内容など ②景観計画(墳丘部からの眺望)	①当該地域は、市域全域として設定されている。届出対象行為としては、工作物の新設(1.擁壁その他類するものH=5mを超えるもの 13.橋梁L=20mを超えるもの)と特定照明(工作物に設置される投光器等)となる。 色彩についても、基準が定められている。 ②古墳の墳丘部からは、富士山をはじめ、周辺の山々を眺望できる。	第2回資料2 P2～3参照
3	第1回資料3-P11 ・東熊堂穂見神社の祭典状況について 周辺道路の使用など	毎年11月末の土日に開催する。周辺道路は警察と協議し、通行止めとしている。今後も祭典を継続していくため、東側歩道+車道の利用が必要となる。	第2回資料2 P4～6参照
4	第1回資料3-P11 ・排水検討について 谷戸川流域と治水能力など	(都)沼津南一色線の整備後の雨水流出量は、約0.2m ³ /secとなる。松沢川と谷戸川へ放流する際には、雨水流出量の貯留や、分流又は流下能力不足の改善などの整備を行う。	第2回資料2 P7, 8参照
5	第1回資料3-P12 ・橋梁の設計について ①大型交通量による橋梁の補正	①沼津南一色線の推計交通量から算出すると補正係数の影響はないため、1.0とする。	第2回資料2 P9参照
	第1回資料4-P2 ・橋梁の設計について ②橋梁の形状 ③橋台南側の配置	②国道1号江原公園交差点の交差点交通容量を算出した結果、南進右折の滞留長は、L=160mを確保することが望ましいため、橋梁部にシフト長が影響する。 ③国道1号側の橋台の南側は、橋台形式を検討できるスペースは確保できる。	第2回資料2 P10、11 参照

1.第1回基本計画検討委員会の質疑について②

NO	質疑内容	回答	備考
6	第1回資料4-P2 ・騒音対策について 遮音壁の必要性	環境影響調査の予測結果より、環境基準値(無対策時)を超えているため、対策が必要となる。 対策方法として、遮音壁の設置を行う。また、資料に記載した条件と、同様の機能を確保する。	第2回資料2 P12~14 参照
7	第1回資料4-P2 ・トンネルの設計について ①トンネル坑口位置 ②トンネルの錯視対策 (形状・デザイン)	①トンネル延長を最小限としたA案は、トンネル立坑による、古墳毀損面積は約45㎡となる。B案は、古墳を毀損させない位置にトンネル立坑を変更した場合、トンネルの延長や内空断面が大きくなり、概算工事費が約8億円増加する。 ②トンネル坑口の圧迫感や錯視の軽減を図るためには、坑口デザインの検討を行う。	第2回資料2 P15、16 参照
	第1回資料4-P1 ・基本理念について 審査委員長のメッセージ	基本計画書の中に「基本計画書の策定にあたって」と題し、福井委員長のメッセージを掲載する。また、来年度の設計競技募集要項の中に、審査委員長のメッセージを掲載する。	
	第1回資料4-P2 ・デザインについて 設計と条件と要求事項の整理など	第2回資料3にて説明	
	第1回資料3、4 ・道路設計と古墳保存について 設計と条件と要求事項の整理など	第2回資料3にて説明	